

「とっとり子育て親育ちプログラム」の改訂にあたって

家庭教育は、すべての教育の出発点であり、家庭は子どもにとって安らぎのある場であると同時に、基本的な生活習慣を身につけ、人格形成やその後の生き方に大きな影響を及ぼす場でもあります。

しかし、近年、少子化や核家族化、地域における人間関係の希薄化、価値観の多様化、SNS等によるコミュニケーションの多様化など、家庭を取り巻く社会の急激な変化の中で、子育てについて気軽に相談できる人がそばにおらず、孤立化している親や、子どもへの接し方に自信を失っている親が増加する傾向にあるなど家庭教育の困難さが危惧されています。また、PTA活動や学級懇談の参加者が少ないなど、親同士の結びつきや、学校と家庭との連携が弱くなり、大人たちが子どもたちの育ちを支えることが難しくなっています。

そこで、鳥取県では、子どもの育ちと共に親自身も育っていく仕組みづくりや、親同士が楽しみながら家庭教育について学び合うため、平成24年度に参加型プログラム「とっとり子育て親育ちプログラム」を作成しました。そして、幼稚園・認定こども園・保育所等、小・中・義務教育学校等での保護者会、子育てサークル、地域の集まりなど様々な場において活用いただき、親同士が子育ての悩みについて話し合ったり、子どもとの接し方を振り返ったり、楽しく交流を深めたりする中で、お互いに支え合える仲間づくりを進めてまいりました。

この度、本プログラムを妊娠期の親（プレママ・プレパパ）及び企業・地域の方を含めたさらに多くの方々にご活用いただくとともに、市町村・産婦人科の両親学級、企業内の研修や地域の集まり等を含めたさらに幅広い場面でご活用いただくために本プログラムの内容を改訂しました。この冊子が家庭の教育力の向上や学校や地域における子育て・家庭教育支援につながることを期待しています。

結びに、本プログラムの改訂に御尽力いただいた香川大学地域連携・生涯学習センター長 清國祐二教授をはじめ、各改訂委員の皆様ならびに御協力いただいた関係各位に心より感謝申し上げます。

令和元年10月

鳥取県教育委員会

教育長 山本 仁志